

# 川崎市長杯「ねんりんピック彩の国さいたま2026」選考会 兼「第34回 川崎市グランドシニアテニス大会」

日 程 令和8年5月4日(月) 予備日5月12日(火)

会 場 川崎市営等々カテニスコート (砂入り人工芝)

交 通 南武線・東横線 武蔵小杉駅よりバス 市営バス、東急バス  
等々カグランド入口下車

\* (車の方は有料駐車場を利用して下さい)

- 注 意
1. 大会出場者は注意事項を必ず守ってください。
  2. 集合時間 (下記時間迄に本部に受付を済ませてください。)  
11時40分 全員
  3. 各自のゴミ持ち帰りにご協力をお願いします。



主 催 川崎市テニス協会

後 援 川 崎 市

(公財)川崎市スポーツ協会

川崎市長杯「ねんりんピック彩の国さいたま2026」選考会  
兼「第34回 川崎市グランドシニアテニス大会」

大会役員

会長 花木内敬雄

大会委員長 加倉井浩一

委員 田辺雅章 税田桂子 鈴木敏昭 矢田部弘

トーナメントディレクター 鈴木敏昭

レフェリー 矢田部弘

大会運営方法および注意事項

1. 選手は、下記時間迄に本部に受付を済ませてください。

11時40分： 全員

届出の際はテニスウェア着用の上、ペアで届けてください。(利用コートはNo.1～10)

2. 天候、その他試合の有無不明のときも一旦、定刻までにコートに集合してください。

延期等の場合は連絡用掲示板(<http://kawasakitennis.blog.fc2.com/>)に掲示いたします。

電話での問合せは一切お断りいたします。(公園事務所への問合せも禁止)

3. 試合方法

① 全種目総当たり戦(ラウンドロビン方式)とする。

② 参加組数が6組以上の年令は3～5組/ブロックで2ブロック以上に分割し、各ブロック毎の順位別決定戦を行う。

③ 各試合は6ゲーム先取(ノーアドバンテージ・スコアリング方式)とする。

尚、審判はセルフジャッジとします。

④ 天候等やむを得ない事情により変更することがあります。

4. 試合進行はオーダーオブプレー方式で行います。原則として放送による選手の呼び出しは行いません。試合進行は各自でオーダー表を確認してください。

5. ウォームアップはサーブス一人6球のみとします。

6. 使用球はダンロップ・フォート(黄)とし、本部より貸与します。試合終了後、勝者が結果報告と併せ本部へ返却してください。

9. 試合進行等により初日に消化出来ない場合は、予備日5月12日(火)に行います。

10. 順位の決定他はJTAテニスルールブック2026に準じます。

11. 参加費は受付時にお支払いください。(1組、3,000円)

川崎市長杯「ねんりんピック彩の国さいたま2026」選考会  
第34回川崎市グランドシニアテニス大会組合せ表

男子60才

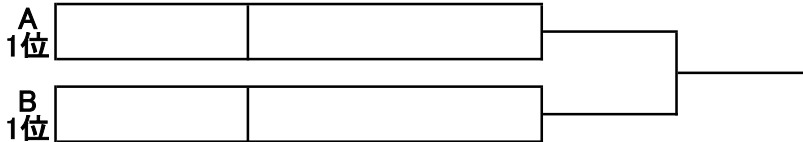
No.	A 選手名(所属)		加藤 衣斐	三浦 明石	米山 大村	岸本 遠藤	西田 長谷川	勝敗	順位
1	加藤 衣斐	在住・在住	/						
2	三浦 明石	在住・在住							
3	米山 大村	在住・在住							
4	岸本 遠藤	在住・在住							
5	西田 長谷川	ひよこTC・ひよこTC							

男子65才

No.	A 選手名(所属)		弾塚 大島	松井 古内	牛飼 磯野	柴田 広野	勝敗	順位
1	弾塚 大島	在住・在住	/					
②	松井 古内	チーム水沢有馬・在住						
③	牛飼 磯野	在住・フリー						
4	柴田 広野	みゆきクラブ・京浜クラブ						

No.	B 選手名(所属)		星野 安形	笠原 西	三木 鶴間	勝敗	順位
5	星野 安形	在住・フリー	/				
6	笠原 西	team west・team west					
7	三木 鶴間	在勤・在住					

男子65才優勝決定戦



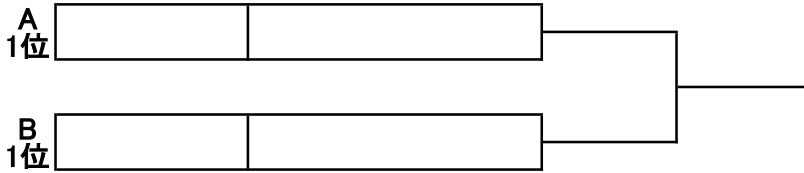
※ ねんりんピック出場希望者については、No.を○付き数字で示しています。  
ねんりんピック出場選手は、60歳男女各1組、70歳男子1組です。  
ねんりんピック出場選手の選考については、各年齢別の成績上位者とします。  
女子の代表は、60才、65才の各成績上位者により決定戦を行います。

男子70才

No.	選手名(所属)	井上 河田	村上 小林	戸田 葛巻	伊崎 伊藤	勝敗	順位
1	井上 河田 在 住 ・ 在 住	/					
2	村上 小林 在 住 ・ 在 住						
3	戸田 葛巻 みゆきクラブ・みゆきクラブ						
4	伊崎 伊藤 在 住 ・ 在 住						

No.	選手名(所属)	原田 星	秦 宮井	小林 鹿野	勝敗	順位
⑤	原田 星 在 住 ・ 在 住	/				
6	秦 宮井 NEXCO 中日本・フリー					
7	小林 鹿野 SPC ・ SPC					

男子70才優勝決定戦



女子55才

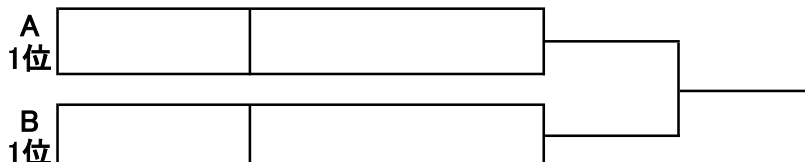
No.	選手名(所属)		岸本 安倍	大友 頭島	那須野 島田	勝敗	順位
1	岸本 安倍	在住・在住	/				
2	大友 頭島	AKI13・AKI13					
3	那須野 島田	セントラル・パークシティ新川崎					

女子60才

No.	選手名(所属)		大沼 山口	渡辺 水野	広野 飯岡	千葉 江間	勝敗	順位
①	大沼 山口	在住・在住	/					
②	渡辺 水野	在住・在住						
3	広野 飯岡	京浜クラブ・京浜クラブ						
④	千葉 江間	在住・在住						

No.	選手名(所属)		小泉 堀川	上原 粕谷	岩本 八木	樋口 生源寺	勝敗	順位
5	小泉 堀川	日吉 LTC・日吉 LTC	/					
6	上原 粕谷	在住・フリー						
7	岩本 八木	MCC溝ノ口・登戸サンライズ						
8	樋口 生源寺	在住・フリー						

女子60才優勝決定戦

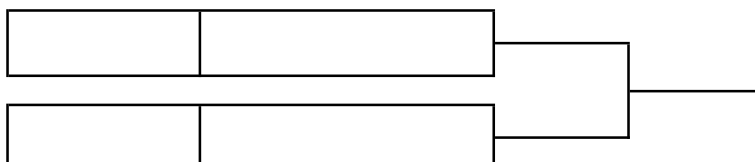


女子65才

No.	選手名(所属)		笠原 鈴木	森田 久永	松本 川本	宮川 野村	間遠 高橋	勝敗	順位
1	笠原 鈴木	team west・フリー	/						
②	森田 久永	在住・在住							
3	松本 川本	在住・在住							
④	宮川 野村	SPC・在住							
5	間遠 高橋	AKI13・フリー							

※ 女子65才の試合は4ゲーム先取です。

女子ねんりん代表決定戦



川崎市グランドシニアテニス大会歴代優勝者

種目 回	女子55才	男子60才	女子60才	男子65才	女子65才	男子70才	女子70才	男子75才
第1回 平成20年6月	多藝・山崎 KFT	佐藤・中村 夢見ヶ崎LTC	小島・西田 市ヶ尾TC	伊藤・本間 京浜クラブ・夢見ヶ崎LTC	丸谷・阿部 SPC	国又・森野 本郷台テニス同好会		坂尾・好士 川崎TC
第2回 平成20年10月	畠山・浜田	佐藤・中川 夢見ヶ崎LTC・九大LTC	丸谷・阿部 SPC	有本・馬杉 レニックス	—	国又・森野 本郷台テニス同好会		—
第3回 平成21年5月	藤木・猜山 SPC	宮上・金井 ケンウッドTC	岩澤・河原 在住	西澤・青木 鶴見TG	橋山・丸谷 SPC	野村・鈴東 鎌倉LTC・鎌倉宮カントリーTC		—
第4回 平成21年10月	古川・高谷 市ヶ尾TC	江口・小島 TGLレニックス	—	伊藤・荻田 百合ヶ丘FTC・九大LTC	橋山・丸谷 ケンウッドTC	野村・鈴東 鎌倉LTC・鎌倉宮カントリーTC		—
第5回 平成22年5月	藤木・浅里 アットホーム・アイ	新井・吉田 夢見ヶ崎LTC	稲葉・今別府 ケンウッドTC・レニックスTC	伊藤・荻田 百合ヶ丘FTC・九大LTC	鈴木・丸谷 夢見ヶ崎LTC・ケンウッドTC	長澤・鈴東 鎌倉宮カントリーTC		—
第6回 平成22年10月	畠山・浜田 在住	木村・高橋 夢見ヶ崎LTC	石田・室井 SPC	佐藤・中村 夢見ヶ崎LTC	小島・丸谷 市ヶ尾TC・ケンウッドTC	長澤・鈴東 鎌倉宮カントリーTC		—
第7回 平成23年5月	藤木・浅里 FTC	藤田・矢田部 夢見ヶ崎LTC・大森TC	畠山・浜田 在住	細澤・平山 在勤・味の素TC	小島・丸谷 市ヶ尾TC・ケンウッドTC	長澤・鈴東 鎌倉宮カントリーTC		—
第8回 平成23年11月	藤木・浅里 FTC	金井・古屋 ケンウッドTC	有田・シング チーム有馬	宮上・藤本 ケンウッドTC	橋山・丸谷 フリー・ケンウッドTC	有本・富田 TGLレニックス		—
第9回 平成24年5月	藤木・浅里 FTC・アイ	大石・山口 みゆきクラブ	有田・シング チーム有馬	菊地・福岡 京浜クラブ	金澤・吉村 みゆきクラブ	藤川・橋本 中央林間TC・在住		—
第10回 平成24年11月	—	為我井・橋田 鶴見TG	多藝・上田 カサブランカ	藤本・青木 ケンウッドTC	—	伊藤・荻田 百合ヶ丘FTC・九大LTC		—
第11回 平成25年5月	原・土門 SRC	為我井・橋田 鶴見TG	佐藤・畠山 SPC	大鹿・竹嶋 TGLレニックス	—	太田・山本 日吉LTC		富田・大崎 TGLレニックス
第12回 平成25年10月	駒橋・高川 夢見ヶ崎LTC	為我井・橋田 鶴見TG	—	山下・長谷川 三菱化工機	—	瀧上・海部 あざみ野・在住		—
第13回 平成26年5月	富岡・川辺 SPC	為我井・橋田 鶴見TG	—	矢田部・山本 在住・フリー	駒橋・高川 夢見ヶ崎LTC	伊藤・荻田 百合ヶ丘FTC・九大LTC		—
第14回 平成26年10月	藤田・鈴木 夢見ヶ崎LTC・チームオクヤマ	大石・葛巻 みゆきクラブ・フリー	磯田・三輪 在住・フリー	佐藤・萩原 夢見ヶ崎LTC・在住	駒橋・高川 夢見ヶ崎LTC	橋本・谷津 SPC・ポブラクラブ		—
第15回 平成27年10月	安間・笠井 在住	丸田・柘植 ケンウッドTC	—	深澤・北田 SPC	川口・谷原 SPC	細澤・杉田 チームオクヤマ・川崎TC		—
第16回 平成28年5月	瀧川・林 SPC・京浜クラブ	丸田・渡会 京浜クラブ	畠山・木村 SPC	—	谷原・木村 SPC	藤本・石井 京浜クラブ・在住		—
第17回 平成28年10月	笠井・石井 在住・SPC	柴田・岩川 みゆきクラブ	川辺・富岡 SPC	渡会・伊藤 京浜クラブ	—	橋本・青木 SPC・ケンウッドTC		—
第18回 平成29年5月	笠井・安間 在住	—	畠山・木村 SPC	為我井・橋田 鶴見TG	—	伊藤・渡会 京浜クラブ		谷津・橋本 SPC
第19回 平成29年11月	謝花・中村 FTC	柴田・岩川 みゆきクラブ	草柳・中澤 SPC	坂本・山本 川崎市役所	—	長谷川・深澤 SPC		—
第20回 平成30年5月	—	橋爪・高野 JFE	宮川・鈴木 SPC	中田・松岡 在住・フリー	—	渡会・青木 京浜クラブ		—
第21回 平成30年11月	堀川・小泉 日吉LTC	柴田・岩川 みゆきクラブ	秋山・佐藤 SPC	杉山・三河 あざみ野	—	鈴木・山本 日吉LTC		—
第22回 令和元年5月	堀川・小泉 日吉LTC	秦・大塚 NEXCO中日本	—	村上・平野 在住・在勤	畠山・木村 SPC	橋本・青木 SPC・ケンウッドTC		—
第23回 令和元年11月	飛田・渡部 ススタームーン	葛巻・戸田 みゆきクラブ	杉浦・碓井 ナリユート・FTC	三河・杉山 在住	—	宮井・有馬 百合ヶ丘ファミリー		—
第24回 令和3年5月	遠山・田中 在住	柴田・岩川 みゆきクラブ	—	—	川井・大門 フリー	伊藤・山本 在勤・フリー		—
第25回 令和3年11月	平山・野口 在住	葛巻・戸田 みゆきクラブ	—	—	—	橋本・山本 SPC・フリー		—
第26回 令和4年5月	—	柴田・岩川 みゆきクラブ	堀川・小泉 日吉LTC	—	—	中田・松岡 在住・フリー		—
第27回 令和4年11月	—	井田・吉野 チームN'B	平山・野口 在住・フリー	—	小林・須藤 登録サンライズ東京シニ	杉山・三河 在住・チームオクヤマ		—
第28回 令和5年5月	—	井田・森田 チームN'B在住	笠井・瀬川 在住・フリー	伊崎・伊藤 在住	—	深澤・水上 SPC	畠山・木村 SPC	—
第29回 令和5年11月	平山・野口 在住・フリー	井田・石村 チームN'B・オクヤマ	—	柴田・岩川 みゆきクラブ	谷原・佐藤 SPC	伊藤・山本 川崎市役所・フリー		—
第30回 令和6年5月	小泉・堀川 日吉LTC	柴田・河島 みゆきクラブ	宮川・野村 SPC・在住	中尾・宇多津 在住・フリー	—	村上・小林 在住		—
第31回 令和6年11月	村瀬・野島 在住・フリー	三浦・藤 在住	谷原・佐藤 SPC	秦・吉岡 NEXCO中日本・在住	—	井上・河田 在住		深澤・石川 SPC・フリー
第32回 令和7年5月	島田・那須野 パークシティ新川崎・在住	三浦・藤 在住	長沼・藤井 在住・フリー	戸田・葛巻 みゆきクラブ	—	中田・松岡 在住・フリー		—
第33回 令和7年11月	谷原・佐藤 SPC	三浦・明石 在住	—	松井・古内 チーム水沢有馬・在住	—	長浜・丸山 在住・フリー		—



## テニス

チーム等々力  
(選手)

ながぬま ゆきこ  
長沼 由紀子さん  
63歳  
●参加歴：1回目

### 憧れのねんりんピックに出場

学生時代、私はインターハイや国体への出場に強い憧れを抱いていた。しかし、その夢が叶うことはなかった。それでも「いつか大きな大会の舞台に立ってみたい」という気持ちは心の奥に残り続け、50歳を過ぎた頃からは“シニアの国体”とも言われるねんりんピックに出てみたいという想いが芽生えていた。ただ、どうすれば代表になれるのか、予選はいつ行われるのか分からないままで年月だけが過ぎていった。

転機が訪れたのは、テニスの先輩の「予選はGWにあるよ」という一言だった。そこで初めて挑戦への道筋が見え、急いでパートナー探しを開始。遠征慣れしている仲間の協力を得て挑んだ予選は緊張の連続だったが、何とか勝ち切り代表の座を獲得した。結果が決まった瞬間は念願の代表だ！という喜びが爆発した。

代表に決まってからは説明会や結団式があり、「川崎市代表」という肩書きに、誇りと責任を強く感じた。同時に、仕事をしている身としては平日の行事に参加するハードルの高さも実感した。もしオンライン配信などがあれば、

もっと多くの選手が参加しやすくなるのではないかと感じた。

開会式では何十年ぶりかに国歌を歌い、他競技の選手と会話を交わし、まるで大人の修学旅行のような雰囲気胸が高鳴った。競技の枠を超えてさまざまな世代の仲間が集い、それぞれの思いを胸に大会へ臨む空気が会場全体を包み込んでいた。

試合はあいにくの雨で、コンディションは万全ではなかった。実力を十分に発揮できなかった悔しさは残る。しかし、「市の代表として戦った」という事実は、結果以上の価値があり、私にとって大きな財産となった。挑戦に至るまでの道のり、仲間の存在、責任感と期待を背負ってコートに立った瞬間。どれも胸に刻まれる忘れがたい経験である。

もしチャンスが再び訪れるなら、もう一度挑みたい。夢を追うのに年齢は関係ない——ねんりんピックは、そう強く感じさせてくれる舞台であった。そのためには、自分自身の日頃からの健康管理を怠らないようにしたい。



ダブルスチームのメンバーと。(右)



決勝トーナメントを目指して、気合たっぷり。(右から2番目)

# ねんりんピックの予定

令和9年度については、通常とは異なる開催方法での実施を検討中  
厚生労働省のホームページから

令和10年度については、東京開催になります。  
会期は、令和10年11月3日～6日の予定です。  
都庁総合ホームページから

## ねんりんピック岐阜2025

